



## 【卒業生等とのディスカッションI】

### 《目的・ねらい》

- [目的] 地元で働く卒業生等とのディスカッションを通じて、企業で働く方々の仕事に向き合う姿勢や、職業人としての意識を学ぶとともに、地域産業への理解を深める。  
[ねらい] 地域産業の仕事内容についての理解を深める。

### 《実施内容》

- ◆ 地元で活躍する卒業生等とのディスカッション
- 日時 平成30年12月4日(火) 5・6限目
- 対象 機械造船科1年生 40名
- 取組 ・ディスカッション主題「地域産業へのアプローチ」  
・協議内容を各班でまとめ、代表生徒が発表

- 《講師》 [船舶産業] 浅川造船、新来島どっく、伯方造船  
矢野造船、村上秀造船  
[機械産業] 今治ヤンマー、潮冷熱、眞鍋造機  
越智昇鉄工、竹中金網

### 《ディスカッションでの助言》

- ・困ったときや分からないときは周囲の人を頼ることが大事。
- ・「ほうれんそう」という言葉は仕事をする上でとても大切。
- ・勉強はしておくこと、特に英語や数学。資格取得も大切。

### 《生徒が学んだこと》

- ・仕事は大変なことが多いかわりに、やりがいを感じることや楽しいことがたくさんあるということを学びました。
- ・仕事に対する印象が以前よりもよくなり、自分も頑張れば立派になれるのではないかと思えるようになりました。
- ・地元企業に就職するよさが、少し理解できました。

### 《実施後の講師意見・感想》

- ・導入の場面では少し改善が必要だと感じた。年々改善されており、よい形になってきている。今後も実施できるとよい。

### 《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

将来の仕事について家族と話し合ったことがあるかの質問に、ほぼ全ての生徒が挙手をしたことに驚いた。早い段階で将来について考えており大変よかった。兄のような年齢の先輩から聞いて今回学んだ内容は、時々見直し、自身の役に立ててもらいたい。

